



そうわ通信 9月号

《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

力作がたくさん！充実した夏休みを過ごして…

～元気に登校してくれてありがとう！これからもいっしょにがんばろう！～

今年の夏休みも、毎日のように酷暑で、厳しい日々でした。昨年と比べると、コロナ禍であることには変わりがないのですが、少し落ち着きを見せ、様々な制限・制約が少なくなった久々の夏となりました。また、学校ではプールの施設開放が行われ、気持ちよさそうに水遊びをしたり泳いだりしている子供たちをたくさん見ることができました。

さて、子供たちが取り組んできた自由研究の成果物等が今月末まで展示中ですが、今年もなかなかの力作ぞろいでとても感心させられました。

私自身も一保護者だった経験から、子供たちの自由研究は夏休み最大の課題でした。まずは子供が興味をもっているものは何かを紐解き、学び(研究)の手順をともに考え、より効果的なまとめ方は何かを模索したことを思い出します(とはいえ、ほぼ、つれあいが担っていました)。

今回の子供たちの取組を改めて見ると、単に得た情報や知識を羅列したものはなく、自分で考えたうえで、実践が伴っていることがよくわかりました。これもひとえに各家庭のサポートがあったからこそだと感じています。本当にありがとうございました。

学級において発表会が行われ、刺激し合ったとの報告もありました。主体的な学びをとおして得られたものは、今後の人生において大きな宝となることでしょう。次年度も期待大の相和っ子たちの作品でした。



「子育てアラカルト② ～「ありがとう」を言える人に 言われる人に～」

本校では、ご承知のとおり、「3つの“あ”」の大切さを伝え、「ありがとう」「あとかたづけ」「あんぜん」を意識するよう指導しています。6年生は、4月の始業式の時に伝えたこの言葉を教室に掲示し、ことあるごとに確認をしているとのことでした。

さて、本校に着任した令和3年4月から少し経ったときに、子供たちから「ありがとう」の言葉があまり聞かれないことが気になっていました。もちろん心ではそう思っていたのかもしれませんが、言葉に出すということは少なかったように思います。今では、保護者の方々の日頃からの教えや、学校での指導により日常化しています。ただ、私としては、このすてきな日本の言葉をもっと大切にしてほしいと考えます。なぜなら、この言葉を言われて、嫌な気持ちになる人は一人もおらず、気持ちよくなるからです。

よりグローバルな多文化共生社会を生き抜く子供たちではありますが、「ありがとう」の言葉はまちがいはなく不変でしょう。ぜひ学校中に、このすてきな言葉が今以上にひろがることを楽しみにしています。

加えて、ちょうど1年前の「子育てアラカルト」に次のように記載しました。「『人権』の基本である『幸せでありたい』『自由でありたい』『生きていたい』も含め、自分のため、そしてだれかのために生きたいと考える」と…。「だれかのために生きる＝『ありがとう』を言われる人になる」なのかもしれません。まずは見本となる身近な大人が、その姿を示したいものです。

これからのキーワードは“SDGs”と“Well-being” ～夏休み明けの朝会にて～

思い起こせば、昨年は夏休み初日の7月21日から、校舎の改修工事が始まりました。大井町及び大井町教育委員会のご配慮と、多くの業者の方々のご尽力により、校舎及び体育館の床や内外壁等が一新され、とても明るく心地よい施設となり、子供たちが歓声をあげていたことを思い出します。もちろん、今でも自問清掃を継続して行き、きれいな状態を保っていることも誇らしく思います。

さて、夏休み明けの朝会では、2つのキーワードを子供たちと教職員に伝えました。それは、「SDGs」と「Well-being」です。今後の教育活動を充実させるうえで、とても重要な理念だと考えています。

実は、このキーワードは保護者の皆さんにPTA総会時に配布させていただいた学校グランドデザインにも記載されています。ただ、時代の流れとして言葉として打ち出しはしたものの、具体策がはっきりしていなかったため、取り扱ってこなかった次第です。

今後は、各教科や学校行事においても、これらのキーワードと関連付けていき、学校教育の充実を図っていきたいと思います。具体については、ホームページ等でお伝えしていきます。



東西の階段にて



職員玄関付近の掲示スペースにて

学校保健委員会【9月12日(火)】 ～給食試食会も実施しました～

学校給食センター(所属は上大井小)の栄養教諭をお招きし、学校保健委員会を開催し、希望した保護者の方々に給食試食会も行いました。

テーマは、「成長期の食事～タンパク質に注目する～」とし、必要に応じて食生活の改善を考えていくよい学びの場となりました。

朝食の状況をアンケートで確認したところ、少しバランスが偏っている傾向が見られました。おそらく準備はされていても、眠さなどで食欲があまりなく、とりあえず食べるといったところなのかもしれません。朝から思い切って体を動かす本校においては、食の充実はすべての根幹になります。今後も、ご家庭と協力して子供たちの健康な身体づくりを推進していきたいと思います。



個別面談を実施します 【9月28・29日】

昨年度までは、夏休みになる直前に実施していた個別面談ですが、すでにご承知のとおり、前期終了前の9月末に実施することとなりました。今年度から、前期最終日に子供たちに渡す「あゆみ」の所見欄の記載が、外国語活動(3・4年)と総合的な学習の時間(3～6年)のみとなり、各教科の学びの様子や生活面での様子を口頭でお伝えする機会を設けさせていただくことによる変更のためです。ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

さて、現在では、

- 「知識・技能の習得」
- 「思考力・判断力・表現力等の育成」
- 「自ら学ぶ力、人間性等の涵養」



を、今後子供たちに身に付けさせたい「資質・能力」とし、そのための様々な工夫を授業に取り入れることで、個に応じた支援の充実を図っています。今回の子供たちに対する評価は、単に現況を把握するだけではなく、その子に適したよりよい支援のあり方を、我々教員が再構築する機会でもあります。この個別面談において、様々な提案をさせていただくかと思いますが、ぜひご理解・ご協力ください。

「おいしい！」の言葉が飛び交う1年生教室 ～給食大好き！～

学校にすっかり慣れた1年生の7名は、いつでも好奇心旺盛で、とても優しい子たちです。もちろん喧嘩もしますが、それぞれの個性が尊重されており、一緒に話をしても楽しい限りです。

そんな1年生ですが、給食の様子を見に行くと、必ず「おいしい！」「この〇〇が大好き！」と言っています。好き嫌いはもちろんあるようですが、給食を楽しみにしていることがよくわかり、うれしく思います。

時間の流れはとても早く、ついこの前入学してきたと思っていましたが、心も体も成長を見せてくれる7名は、もう2年生になる準備を始めているのかも…と思うと感慨深いです。

